

まちの話題

地域の力・笑顔が結集

第25回ふるさとまつり

IN YAMATO

11月6日、大和総合運動公園で「第25回ふるさとまつりIN YAMATO」が開催されました。これは、「こころをあわせてよいまちに」を合言葉に、大和地域の特性を生かし、まつりを通して、大和地域の活性化と、新市誕生一周年を機に、光地域との交



流を深め、両地域の一体感を生む地域づくりの推進を目的としたものです。この日は、あいにくの悪天候となりましたが、多くの人が訪れ、グラウンドいっぱいには設営されたお店や、ステージイベントを楽しんでいました。さまざまな物産品が売られたほか、焼き物自慢チンコ対決として、8つの焼き物の味比べがお客さんの投票で行われ、皆さんの舌を楽しませていました。



ステージでは、園児による遊戯やよさこい、大和なでしこ総おどりなど見ごたえのあるショーが盛りだくさん。大人気のちびっ子歌謡大将では6組のちびっ子が愛嬌のあるパフォー

マンスと元気いっぱい歌声を披露。続いて、室積出身の歌手あさみちゆきさんによる歌謡ショーも行われ、会場は大いに盛り上がりました。

ウォーキングでリフレッシュ

健康ウォーク in 冠山総合公園

10月30日、冠山総合公園で「健康ウォーク in 冠山総合公園」を開催しました。これは、生活習慣改善啓発の一環として、正しい歩き方をマスターし、さらに健康効果をアップしてもらおうと企画したものです。

講師のわかりやすく、テンポのよいお話の後、ストレッチで体をほぐし、それぞれのペースで冠山総合公園の日本庭園散策ウォーキングコースを2周しました。

頭と体で正しい歩き方を学んだ参加者の皆さんは、さわやかな秋のひとときに、すっかりリフレッシュした様子でした。



防災意識の普及活動に

第3回消防まつり

10月30日、光地区消防組合消防本部で「第3回消防まつり」を開催。親子づれを中心に、たくさんの方で賑わいました。これは、消防と地域住民とのふれあいを通して消防をPRするとともに、防災意識の普及啓発を図ることを目的としたものです。

消防体験コーナーでは、地上1.5に張ったロープを渡ったり、火事に見たてた的をジェットシューターで落としたりする「火事だ かじだ体験」や「はしこ車搭乗体験」などが行われ、子どもたちを楽しませていました。

これからの季節は空気が乾燥し、火事が起こりやすくなります。また、災害はいつ起こるかわかりません。一人ひとりが心がけましょう。



地域の人に教えてもらいな がら作ったよ

第26回潮音寺山まつり

10月23日、浅江小学校に隣接している潮音寺山ランドや体育館を使って「潮音寺山まつり」が開催されました。潮音寺山は、浅江地区のシンボルとして、地域の方が中心となり整備をしています。その潮音寺山を地域住民のふれあいの場として、もっと活用してもらおうと毎年開かれているものです。

今年も、浅江地区の小学生を中心に、たくさん子どもたちが参加。体育館では、地域の人たちに教わりながら、小枝細工や竹とんぼ作りなどに挑戦。子どもたちは、慣れない作業ながら、ていねいに作品を仕上げていきました。



市民特派員の
廣政晴美さん
(岩田)

まちがど
レポート

地域ではいつらつ運動会

大和公民館体育大会

10月16日、前日の雨が嘘のような晴天に恵まれ、「大和公民館体育大会」が大和総合運動公園グラウンドで開催されました。今年も、行政主体から公民館主催となり、私たち公民館役員もますます力が入ります。各自治会をはじめ、たくさんの方の協力があり、今回のテーマである



花と緑の豊かな まちづくりを目指して

光市花壇コンクール

10月24日、「平成17年度光市花壇コンクール」の表彰式を行いました。旧光市でスタートし37回目となった今年のコンクールには、市内の自治会や事業所、保育園、学校など65団体が参加。審査の結果、次の皆さんが受賞されました。

【最優秀賞】市首領家台団地自治会
【優秀賞】光老会、光警察署、松原保育園、浅江小学校【優良賞】高畑自治会、中松原自治会、(株)光キフトセンター、さつき幼稚園、やよい幼稚園、塩田小学校、岩田小学校【努力賞】光老会第5分会、光老会第9分会、緑町自治会、周防長養園、すーちゃんちのたまごらんど、光井保育園、東光保育園、浅江東保育園、室積中学校、島田小学校、三井小学校



「みんなで考え」「みんなで協力し合い」「みんなで楽しむ」の言葉どおり、まさに地域でつくりあげた体育大会となりました。

この体育大会は、大和地域を4地区に分け、地区ごとに競い合います。趣向を凝らした自由参加種目も多数登場。大なわとびにゲタとばし、借り物競争など、見ているほうも思わず笑みがこぼれる、名珍場面の続出でした。

大和公民館体育大会一押し、個性的な種目といえば、やはり「百足競争」でしょう。5人一組となって板のゲタを履き、そのゲタがバトンの代わりとなります。なかなか前に進まなかったり、将棋倒しのようになり倒れこんでしまったり、やってみると想像以上に難しいのがこの競技。それだけに、一段と盛り上がり

ます。大きな声援が飛び交い、今年も大興奮のうちに幕を閉じた体育大会。今から来年が楽しみです。